

## 熊本北高校×菊池農業高校 合同発表会・勉強会実施

10月4日(月)に県立高校One Teamプロジェクト事業の取組として、菊池農業高校と本校をオンラインでつなぎ、課題研究・プロジェクト研究合同発表会・学習会を実施しました。

まず、菊池農業高校からプロジェクト発表と3年生の意見発表を行い、本校からは2年生によるポスター発表を行いました。

質疑応答を行った後、「研究を行う際の両校の状況」と「共同研究の可能性」について互いに協議を行いました。

事前課題として、自校の強みと弱み等についてSWOT分析をして臨みました。分析結果の紹介後、互いの強みと弱みを補うような取組や、強み同士を掛け合わせる取組を協議しました。

研究を行うときの農業高校ならではの地域貢献の視点に立ったアプローチや理数科・普通科ならではの研究の視点や手法について意見交換をする中で、今後の研究の方法について交流を深めることができました。

両校とも今回の学びをいかして、今後の研究を発展させてくれることを期待します。



図1 両校の強み×弱み、強み×強みに関する取組をJamboardで共有



図2 研究班ごとの小グループで協議

### 本校生徒の感想 (一部抜粋)

- 北高だけではできないことがたくさんあるので、菊農など他の高校と協力すればもっといろんなことができると思った。
- 北高では、データ分析やコンピューター技術をいかした統計などをこれからの研究にいかしたいと改めて思った。
- 液状化について話しているときに、水田はわざと液状化させると言っていたのでオモシロイと思った(液状化研究班)。
- 菊池農業高校は地域貢献となるプロジェクトだった。地域に貢献できる研究をしたい。

## 科学英語の時間を利用した 天草研修事前学習の充実

天草研修の事前学習として、10月25日(月)のグローバル・サイエンス・コミュニケーションの授業で、Chromebookを利用して「天草の生き物図鑑」の作成を実施しました。始めにJamboardで、知っている天草の生き物を書き出し分類すると、ほとんどが海の生き物でした。なぜ天草の海は、

多様な生物がいるのかを学んだ後、環境省の「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の基準となった生物についてインターネットで調査し、Googleスライドに「天草の生き物図鑑」としてまとめました。その後、英語での図鑑「The Amakusa Creatures」の作成を進めました。

10月29日(金)の天草研修では、全員で作成した図鑑を持って、魚類調査に臨みました。

なお、研修後は、堆積岩(化石を含んだ岩石)を用いた、ALTによる英語での化石発掘の授業が予定されています。

科学と英語を融合させた授業展開をこれからも進める予定です。



図3 解説後、Googleスライドを利用して一人2種ずつを担当



図4 魚類調査の様子

## SSH広報モニター設置 ～「探究の一步」毎日更新～

校内でも、SSH事業の活動を広く知ってもらうことを目的として、2階生徒ホール前に、SSH広報モニターを設置しました。

使用しなくなったTVモニターとPCを利用して、これまでのSSH事業の成

果や最近の校内のSSH関連のニュースを表示しています。さらに、朝会で紹介される「探究の一步」は毎日更新しています。日常生活の中の様々な疑問が日々投げかけられています。

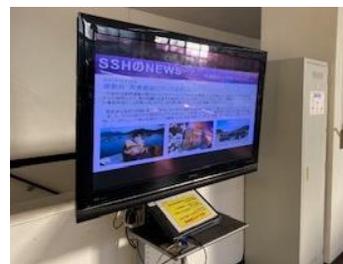


図5 SSH広報モニター